



TAKATSUKI

# \* 農委だより

臨時特集号

臨時特集号  
令和2年9月

編集・発行  
高槻市農業委員会  
〒569-0067  
大阪府高槻市桃園町2番1号  
TEL 072-674-7421

<http://www.city.takatsuki.osaka.jp/>

## 会長就任のごあいさつ



日ごろから本市農業委員会活動に格別のご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。このたびの委員改選に伴い、7月20日に開催されました農業委員会臨時総会におきまして、引き続き会長に任命され、重責を担うこととなりました。

身に余る光栄でありますとともに、改めて責任の重大さを痛感しているところでございます。委員の皆様からのご支持を賜り、皆様のご期待に応えるべく、本市農業の発展及び振興にまい進する所存でございます。

さて、本市における農業の現状は、依然として担い手不足や遊休農地の増加、さらには台風・ゲリラ豪雨等の自然災害、有害鳥獣による農作物への被害など、多岐にわたる課題に直面している状況です。加えて、昨今の新型コロナウイルス感染症拡大の影響も受け、わが国の農業にも大きな影響を及ぼしかねない状況となっております。

本委員会では、大きな転換期を迎えている今、これらの新たな課題に対応していくため、農業委員と農地利用最適化推進委員が相互に連携し、また、関係機関及び地域の農業者と協力し合うことで、特に農業委員会の重要な任務である「担い手への農地の利用集積・集約化」、「新たに農業経営を営もうとする者の育成・確保」、「遊休農地の発生防止・解消並びに農地の適正利用」に、積極的に取り組んでまいります。

これまで、本委員会が築き上げてきた実績を引き継ぎ、新たに任命及び委嘱された農業委員・農地利用最適化推進委員、総勢21名の委員全員が一致団結して、高槻市の「農地の保全」及び「農業の振興」、さらには「農地等の利用の最適化の推進」に、全力で取り組んでまいりますので、なお一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。会長就任のごあいさつとさせていただきます。

高槻市農業委員会会長 **橋長俊彦**

### 農業委員会の活動

令和2年7月～9月

- 7月 第7回定例会・第7回常任会議  
臨時総会（農業委員任命式・  
農地利用最適化推進委員委嘱式）  
三島地区農業委員会連合会臨時総会
- 8月 第8回定例会・第8回常任会議
- 9月 第9回定例会・第9回常任会議  
ブロック別農業委員会研修



新委員による初総会



副会長  
**阪口 和義**  
(梶原一丁目)

高齢化や後継者不足により、遊休農地が増加している状況です。本市農業の活性化のために農地利用最適化推進委員とともに各課題に取り組んでまいります。

## 農業委員、推進委員が改選

### 令和2年より3年間、 よろしく願っています。

7月20日、農業委員会臨時総会が開催され、市長から14名の農業委員が任命されました。また同日に、農地利用最適化推進委員7名が農業委員会から委嘱されました。任期はともに令和5年7月19日までの3年間です。

臨時総会では役員を選任が行われ、会長には橋長俊彦委員、副会長に阪口和義委員、常任委員には高谷敏宜委員、辻本豊廣委員、堤勇委員、藤井博委員がそれぞれ選出されました。今号では、就任にあたっての意気込みとともに各委員をご紹介します。

(敬称略・役員を除き五十音順)



会長  
**橋長 俊彦**  
(東天川二丁目)

令和の時代、食料・農業・農村計画に基づく、食料自給率の向上に向けた具体的な施策推進を図り、農業生産者として国民の期待に応えてまいります。



常任委員  
**藤井 博**  
(富田町六丁目)

高槻市の都市型農業において、高齢化や後継者不足による耕作放棄地、遊休農地の増加を考え、農地の保全や農業振興に取り組んでまいります。



常任委員  
**堤 勇**  
(郡家本町)

農業を取り巻く厳しい環境を真摯に受け止め、これまでの委員経験を活かし地域の実情も踏まえた農地の保全・農業の振興活性化に努めてまいります。



常任委員  
**辻本 豊廣**  
(唐崎中二丁目)

農業経営が縮小傾向にある現状、農地保全には地域の活性化が必要です。組織的営農を形成し、都市型農業に合った農業の振興に取り組んでまいります。



常任委員  
**高谷 敏宜**  
(塚脇一丁目)

高槻市の農業振興のため、新規就農の推進、後継者対策、及び遊休農地対策等に積極的に取り組んでまいります。



**橋長 重治**  
(東天川三丁目)

高槻の農業は環境や災害時における安全空間として重要な役割があります。農地保全と農業振興の発展に積極的に取り組んでまいります。



**灰垣 和美**  
(大冠町三丁目)

農業従事者の高齢化をはじめ、後継者不足、遊休農地の発生防止・解消など農地の保全と農業振興の発展に取り組んでまいります。



**中村 玲子**  
(古曾部町二丁目)

都市の農地は、なくてはならないものです。農林業基本計画の策定に取り組み、生産緑地の積極的な活用など農地を農地として残せるように頑張っております。



**岩 為俊**  
(成合中の町)

法の下、農地の適正な対応が求められる農業委員の任務は大変重要です。35万都市高槻の発展を左右する農政をしっかり築くため、頑張っております。



**渡邊 美広**  
(大字出灰)

遊休農地や高齢化による後継者不足など、地域が抱えるさまざまな問題に引き続き取り組んでまいります。



**山本 正義**  
(奈佐原元町)

近年の農業における高齢化及び後継者不足による耕作放棄地や遊休農地の増加に伴う諸問題を少しでも改善できるよう、取り組んでまいります。



**藪内 周**  
(大字原)

農地利用最適化推進委員とともに、遊休農地の増加や鳥獣被害の拡大などに悩む本市北部の農業の振興に努めてまいりたいと思っております。



**橋本 吾睦**  
(芝生町一丁目)

農業者の高齢化に伴い、遊休農地等を多方面に活用できないか、若年層に呼びかけ、農業協力者及び後継者の育成に取り組んでまいります。



第4区域(五領)  
**木下 仁志**  
(道鶴町五丁目)

近年、様々な事情にて耕作放棄地が増えてきていますので、少しでも改善できるよう、活動していきたいと思っております。



第3区域(磐手・芥川)  
**下村 正人**  
(郡家本町)

農地利用最適化の目的を踏まえ、地域の実情に合った農業振興と農業者・農地等の問題に農業委員と共に取り組んでまいります。



第2区域(清水)  
**石田 和義**  
(大字原)

遊休農地の拡大が深刻化していますが、地区の実行組合長・農業委員と共に、農業後継者の育成や地域農業の活性化に取り組んでまいります。



第1区域(樫田)  
**畑 秀春**  
(大字中畑)

3年間の委員の経験を活かし、各地域の課題を見据えつつ、農業・農地の後継者の育成に努め、農業の活性化・延いては地域の活性化を目指してまいります。

農地利用最適化推進委員

**退任された  
農業委員・推進委員の  
皆さま**

【敬称略・五十音順】

**【農業委員】**

- 小野 敏彦 (安満北の町)
- 北口 哲 (芝生町一丁目)
- 久保 隆夫 (芝生町一丁目)

**【推進委員】**

- 寺田 實男 (塚原三丁目)
- 吉田 芳雄 (東天川一丁目)



第7区域(三箇牧)  
**谷口 幸隆**  
(柱本三丁目)

農業委員と共に農業の担い手を育て、農地の有効活用を進めることで遊休農地の防止に努めていきます。



第6区域(大冠・如是)  
**門川 進**  
(大塚町二丁目)

農地と宅地が混在する都市農業の活性化を図り、後継者等の担い手不足による耕作放棄地等の発生防止に農業委員と共に頑張りたいと思っております。



第5区域(阿武野・富田)  
**植田 信夫**  
(富田町四丁目)

都市における農地の保全を第一に考え、遊休農地の発生防止及びその解消に向けて少しでもお役に立ちたいと思っております。

## 緊急事態宣言解除後初の朝市を開催

今城古代歴史館前

中止となっていた今城塚古代歴史館前での朝市が6月下旬から再開されました。この催しは、市内各地で地元産農産物を販売している農業振興団体協議会が主催し、新鮮で安全・安心な野菜や花などを即売しています。



今年度2回目の開催となった8月8日は、販売開始前から約100人の来場者が詰めかけ、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、係員による入場整理が行われる中、例年と同様ににぎわいを見せていました。

## 今後の朝市開催予定 ~ぜひお越しください~

〈場所〉今城塚古代歴史館駐車場(郡家本町48-8)

〈日時〉9月12・26日、10月10日、12月12日、

1月9日、2月13日、3月13日の午前8時~9時30分  
(12月12日以降は午前8時30分~)

※商品がなくなり次第終了

〈問合せ〉市農業振興団体協議会事務局(農林緑政課内)

☎674-7402

Photo News  
フォトニュース学習田で田植え  
南平台小学校

新型コロナウイルス感染症対策を講じた上、農業委員の山本正義委員や地元実行組合の清水久雄さんのご協力のもと、南平台小学校の5年生が奈佐原の学習田で田植えを行いました。

子どもたちは、田植えの指導を受け、米作りに対する関心を深め、楽しみながら農業の大切さを学びました。



## 抑制蔬菜品評会の開催

榎田・萩谷地区

毎年恒例の抑制蔬菜品評会が8月4日に榎田・萩谷地区で行われました。抑制蔬菜とは、比較的冷涼な地域で寒暖差を利用し、本来の収穫時期をずらした野菜のことです。品評会は、生産者さんたちが切磋琢磨し意欲向上を目指すもので、審査は市農業振興団体協議会のほか、大阪府と高槻市職員が行いました。今回の品評会では、優秀賞に大上誠さんのナス、また優良賞には鈴木善大さんのピーマンと森田久治さんのオクラが選ばれました。

審査を行った大阪府の中上総括からは、「今年度は新型コロナウイルス感染症に見舞われたなか、開催できたことを嬉しく思います。また、長梅雨のなか、日々の農業に力を注いでいただいている農家の皆様に感謝します。」とコメントがありました。



優秀賞に選ばれた大上誠さんのナス

## 全戸調査を実施

農家台帳情報整備のため

農家台帳は、農地の権利関係や経営状況の把握のため、法的に農業委員会への備え付けが義務付けられているもので、この情報は、農家の皆様からの相談の際の基本情報となり、事務処理上、大変重要なものとなります。

そのため農業委員会では、今年度、管内の農地の所有者等の全世帯を対象に、世帯状況等の実態調査を実施します。また、担い手不足などの諸問題に対する方策として、農地の利用集積の実施のため「農地利用に関する

## 調査概要

## ・対象者

農地の所有者及び耕作者の  
**全世帯**

## ・調査方法

調査票を直接各世帯に郵送  
※同封の返信用封筒にて返信いただきます

## ・スケジュール

11月下旬 調査票の発送

令和3年1月上旬

調査票の返信期限

るアンケート」をあわせて行います。また、今号では調査概要を紹介し、詳細につきましては、次号の「農業委員会だより」に掲載しますので、皆様のご理解、ご協力をよろしくお願ひします。